



## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年1月30日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第1四半期の業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	1,287	9.4	158	69.2	210	0.3	167	15.4
2022年9月期第1四半期	1,176	△10.4	93	△37.1	209	15.4	145	4.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	120.01	—
2022年9月期第1四半期	103.94	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	18,582	8,704	46.8
2022年9月期	18,877	8,596	45.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 8,704百万円 2022年9月期 8,596百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	5.3	500	12.7	630	△7.7	420	△10.8	300.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	1,404,000株	2022年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	7,859株	2022年9月期	7,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	1,396,141株	2022年9月期1Q	1,396,256株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関してウィズコロナの新たな段階への移行が進められ、個人消費、企業収益ともに緩やかな持ち直しが見られた一方、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場におけるボラティリティー拡大等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、全事業で前年同期を上回り、全体での営業収益は1,287百万円（前年同期比110百万円増）と前年同期比増収となりました。

営業総利益につきましては、不動産事業は前年同期並となり、保険事業、千本松牧場、ゴルフ事業では前年同期を上回り、全体では315百万円（前年同期比65百万円増）と前年同期比増益となりました。一般管理費は前年同期並の157百万円（前年同期比0百万円増）となり、営業利益は158百万円（前年同期比64百万円増）と前年同期比増益となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益51百万円（前年同期比69百万円減）を計上したことを主因に、経常利益は210百万円（前年同期比0百万円増）、四半期純利益は167百万円（前年同期比22百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

#### ①保険事業

お客様とのリレーションを深め、様々なリスクマネジメントのご要望に応じた保険商品の提案を行う等、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進しました。営業収益は、生命保険分野は新たなご契約を数多くいただいたことに加え、損害保険分野で多くのお客様に既存契約の更改をしていただいたことを主因に両分野とも増加し、全体で275百万円（前年同期比28百万円増）となりました。営業原価は人件費増加を主因に前年同期を上回り、営業総利益は79百万円（前年同期比23百万円増）となりました。

#### ②不動産事業

所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移し、営業収益は302百万円（前年同期比1百万円増）となりました。営業原価は水道光熱費増等により前年同期を上回り、営業総利益は前年同期並の188百万円（前年同期比0百万円減）となりました。

#### ③千本松牧場

新型コロナウイルス感染症の影響は続きましたが、各種メディアを通じた牧場プロモーションや全国旅行支援の効果等により、観光施設へのご来場者数は前年同期を上回りました。施設内では、ハロウィンやクリスマスイルミネーション等の季節感を感じていただける装飾、バウムクーヘンやアイスクリームのリニューアル、レストランメニューの改善、キッズバイクの導入等、引き続きご来場者様に安全安心にお楽しみいただける牧場作りに努めたことで、観光施設は前年同期比増収となりました。外販営業は地元量販店、ギフト商社向けが伸長し、前年同期比増収となりました。酪農は搾乳牛の累計頭数、搾乳量ともに増加し、前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で465百万円（前年同期比54百万円増）となりました。営業原価は変動費の増加を主因に前年同期比増加し、営業総利益は17百万円（前年同期比27百万円改善）となりました。

#### ④ゴルフ事業

ゴルフ場の基盤であるコースコンディションの維持・向上に引き続き取り組み、ご来場者様から高くご評価いただきました。加えて、プレー前日宿泊プランのご提供、レディースデーの増設、LINE・メール・Instagramを活用しての積極的な情報発信やプレープランのご案内、ハウライカントリー倶楽部でのセルフプレー継続、西那須野カントリー倶楽部での市民ゴルフ大会の連続開催等で、より多くの方にご来場いただけるよう努めました。また、クラブハウス売店における品揃えの工夫やお得な割引セットの販売、接客やレストランの食事の向上等、ご来場者様によりご満足いただける取り組みに引き続き注力いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間のご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は243百万円（前年同期比25百万円増）となりました。営業原価は、経費の抑制に努めたものの、ご来場者数増に伴う変動費の増加に加えて水道光熱費が大幅に増加したことから前年同期を上回り、営業総利益は30百万円（前年同期比14百万円増）となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,300,082	3,129,065
受取手形及び売掛金	350,075	256,903
商品及び製品	109,875	104,712
仕掛品	6,337	19,637
原材料及び貯蔵品	53,079	64,833
その他	111,032	126,569
貸倒引当金	△89	△104
流動資産合計	3,930,395	3,701,617
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,666,332	3,614,988
土地	8,266,772	8,266,772
その他(純額)	1,843,677	1,843,248
有形固定資産合計	13,776,781	13,725,008
無形固定資産		
投資その他の資産	22,317	21,248
その他	1,171,134	1,157,639
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,148,134	1,134,639
固定資産合計	14,947,233	14,880,897
資産合計	18,877,628	18,582,514
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114,231	115,956
未払法人税等	157,791	44,603
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
引当金	92,751	18,259
その他	790,292	712,207
流動負債合計	1,255,066	991,027
固定負債		
長期預り保証金	5,975,826	5,881,846
長期借入金	2,700,000	2,700,000
引当金	136,510	99,835
資産除去債務	98,777	99,015
その他	114,817	106,142
固定負債合計	9,025,930	8,886,838
負債合計	10,280,997	9,877,866
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	3,540,912	3,631,674
自己株式	△19,325	△19,325
株主資本合計	8,389,189	8,479,951
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207,441	224,696
評価・換算差額等合計	207,441	224,696
純資産合計	8,596,631	8,704,648
負債純資産合計	18,877,628	18,582,514

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	1,176,746	1,287,392
営業原価	926,173	971,416
営業総利益	250,573	315,975
一般管理費	156,983	157,610
営業利益	93,590	158,365
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	2,857	6,993
会員権消却益	120,720	51,550
その他	4,093	4,873
営業外収益合計	127,675	63,421
営業外費用		
支払利息	7,770	7,532
乳牛除売却損	2,374	3,081
その他	1,533	1,041
営業外費用合計	11,678	11,655
経常利益	209,587	210,131
特別利益		
固定資産売却益	—	12,191
特別利益合計	—	12,191
特別損失		
固定資産除売却損	94	158
特別損失合計	94	158
税引前四半期純利益	209,492	222,164
法人税、住民税及び事業税	21,665	33,348
法人税等調整額	42,697	21,265
法人税等合計	64,363	54,614
四半期純利益	145,129	167,549

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。